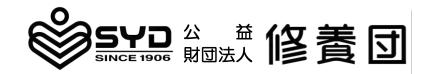
平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日



公益1

I. 青少年活動

1. 子ども自然体験活動

(1) 創立110周年記念「夏期子ども自然体験キャンプ」

〈別表-1〉

ア.「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 7月~10月<2泊3日~3泊4日>

開催数 4会場(あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、沖縄)

*沖縄は台風接近の為10月に延期開催

スタッフ等 109名

参加者 203名(内、障害児招待2名)

イ. SYD主催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 2会場(富士山、関西)

スタッフ等 94名

参 加 者 261名

ウ. 創立110周年記念「沖縄子ども自然体験キャンプの旅」

期 間 8月6日(木)~12日(水) <6泊7日>

会 場 沖縄県立糸満青少年の家キャンプ場ほか

スタッフ等 3名 (青木富造、小川幸恵、志村和也)

リーダー 1名 (大学生)

参加者 12名(沖縄県外の小中学生)

エ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 7月~8月 <各3泊4日>

開催数 6会場(美幌、房総、岐阜[友愛]、広島、北部九州、鹿児島)

スタッフ等 205名

参加者 234名(内、障害児招待7名)

オ. キャンプ担当者会議(創立110周年記念事業)

期 間 5月4日(月・祝)~6日(水・祝) < 2泊3日>

会 場 ばんだいふれあいぴあ

スタッフ 4名 (青木富造、志村和也、板倉和也、谷野渉)

出席者 15名(各地キャンプ担当者)

カ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主事	事務担当者	キャンプ名	主事	事務担当者
① あっさぶ	根岸秋吉	真下淳一	② 桧原湖畔	志村和也	中野淳一
③ いばらき	山﨑政弘	谷野 渉	④ 沖 縄	志村和也	小川幸恵
⑤富士山	寺岡 賢	板倉和也	⑥ 関 西	寺岡 賢	板倉和也

キ. 子ども自然体験キャンプ事前調査≪子どもゆめ基金助成活動≫

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	6月10日(水)~12日(金)	根岸 秋吉
2	桧原湖畔	6月15日(月)~18日(木)	谷野 渉
3	いばらき	6月23日(火)~24日(水)	山﨑 政弘
4	沖縄	7月 4日(土)~ 6日(月)	青木 富造 志村 和也

ク. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名 派遣講師		キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	
① 美	幌	保坂 正志	② 房 総	谷野 渉	③ 友 愛	保坂 正志
④ 広	島	保坂 正志	⑤ 北部九州	根岸 秋吉	⑥鹿児島	山﨑 政弘

ケ. 印刷物の作成

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成《子どもゆめ基金助成活動》

部 数 30,000部(内15,500部は助成対象外)

体 裁 A2版及びA3版、4色刷(A2版は助成対象外)

②「子ども自然体験キャンプ」報告書

部 数 1,400部

体 裁 A4版、88頁

(2) 冬期子ども自然体験(スキー)キャンプ

≪第1回≫

開催日 $12月26日(+)\sim30日(水)$ < 4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場)

指導者等 9名(指導員:高橋源一郎・相田好美(SA | スキー指導員)

講師等:青木富造、志村和也、谷野渉

炊事員:小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳、佐藤靖子)

参 加 者 78名 (リーダー26名、キャンパー52名)

≪第2回≫

開催日 平成28年3月26日(土)~30日(水) <4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート)

指導者等 8名(指導員:高橋源一郎、相田好美 (SAJスキー指導員)

講師等:青木富造、志村和也、谷野渉

炊事員:小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳)

参加者 46名(リーダー19名、キャンパー27名)

(3) 冬期リーダー研修会

開催日 平成28年3月23日(水)~25日(金)<2泊3日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート)

指導者等 2名(青木富浩、谷野渉)

参加者 8名(高校生から30歳位までの青年)

(4) **夏期少年少女合宿講習会(青年会議所との共催事業)** (会場: SYD伊勢青少年研修センター)

期日	名 称	参加者
7月22日(金)~ 24日(日)	寺子屋伊勢合宿	5 3名
7月27日 (水) ~ 28日 (木)	伊勢少年少女合宿講習会	115名
7月31日(日) ~8月2日(火)	岸和田少年少女サマースクール	49名
合 計	3 回	217名
前年度	3 回	281名

(5) 第13回40kmナイトウォーク親子の集い(会場:SYD伊勢青少年研修センター)

開催日 9月5日(土)~6日(日)

対 象 小学3年生以上の子どもと大人

参加人数 153名

2. 子どもボランティア活動推進事業

(1) 東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア

〈別表-2〉

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 5月~平成28年1月 <各2泊3日>

開催数 7回(特別開催1回を含む)

活動場所 福島県、宮城県内の仮設住宅

スタッフ 30名

参 加 者 149名 (リーダー25名、参加者94名)

(2) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ア. 幸せの種まきキャンペーン≪出前講座・課外授業≫の実施

〈別表-3〉

開催数 69会場

派遣講師 3名(青木富造、山口千恵子、志村和也)

体験発表者 7名 (三岳小姫、森山ほのか、川合日菜子、西村咲笑、伊藤未知、松本 莉奈、津田悠花)

参加者 10,462名

イ. パンフレットの作成・配布

部 数 14,000部

体 裁 A4版、8頁、4色刷

配 布 先 14,000ヶ所

(3) **子ども週末WAKU×2ひろば《**子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-4〉

ア. 子ども週末WAKU×2ひろばリーダー研修会

開催数 6会場 <各1日~1泊2日>

指導者等 28名(指導者8名、青年指導者20名)

参加者 286名

イ.子ども週末WAKU×2ひろば

開催数 9会場 <各1日~1泊2日>

指導者等 14名

参 加 者 118名

(4) **創立110周年記念「SYDきらめきメッセージ全国コンクール」**《文部科学省後援》

開催日時 平成28年2月6日(土) 13時~14時30分

会 場 SYDホール

審查委員 9名:御手洗康、山﨑一紀、安仁屋聡、石田博嗣、梶山優子、古賀克彦、 宝井琴柑、田中浩史、青木富造 (欠席:明石要一)

受賞者 • 文部科学大臣賞1名 山口 杏(文教大学3年)

•理 事 長 賞1名 佐夛 優妃(船橋市立御滝中学校3年)

·優 秀 賞3名 福野 亜美(福井市立麻生津小学校5年)

新城 和真(県立嘉手納高等学校2年)

平田宗一郎(県立上田高等学校2年)

・きらめき賞11名 小田智裕(小2) 山﨑蒼空(小5) 竹下彩花(中1)

吉里武留(中2) 伊吹美奈(高1) 今川瑞穂(高1)

末永和也(高2) 宮里初奈(19歳) 谷野 晃(19歳)

石原桃子(21 歳) 川上 竜(21 歳)

※審査委員会議の開催

開催日時 12月13日(日) 11時~14時

会 場 SYD会議室

出席者 審查委員8名:御手洗康、山崎一紀、明石要一、安仁屋聡、石田博嗣、

古賀克彦、田中浩史、青木富造

事務局5名:岩佐加寿子、山口千恵子、市島寿里、志村和也、谷野渉

3. SYD指導者の養成

(1) 創立110周年記念「全国青年ボランティア・アクション in 福島」

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 7月26日(日) \sim 31日(金)<5泊6日>

会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県石巻市ほか

講師 1名(遠藤信幸:町立三春病院ケアワーカー)

臨 席 1名(御手洗康)

スタッフ 6名(山﨑一紀、青木富造、山口千恵子、岩佐加寿子、志村和也、谷野渉)

参加者 29名(全国の中学生及び高校生等)

ア. 企画運営委員会の開催

開催日 5月4日(月・祝)~6日(水・祝)<2泊3日>

会 場 ばんだいふれあいぴあ

スタッフ 4名 (青木富造、志村和也、板倉和也、谷野渉)

参加者 15名(全国のSYD指導者)

イ. 全国青年ボランティア・アクションin福島事前調査

期 日 6月15日(月)~18日(木) < 3泊4日>

派 遣 者 志村和也

派 遣 先 福島県下(喜多方市、会津若松市 他)

(2) 創立110周年記念「全国青年ボランティア・フェスティバル」

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 平成28年2月6日(十)~7日(日)<1 \dot{n} 2日>

会場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター

臨 席 2名(御手洗康、山﨑一紀)

指導者等 3名(青木富造、市島寿里、谷野渉)

実行委員 20名 (組織の代表者及び有志 (高校生以上の青年))

参加者 56名(全国の青少年及び青少年指導者)

★創立110周年記念全国青少年フェスティバル来場者

開催日時 平成28年2月6日(土) 12時30分~16時30分

会場 SYDホール

来場者数 234名

来賓(文部科学省青少年教育課長泉潤一、奨励賞選考委員山田一功) 2名 全国青少年ボランティアフェスティバル参加者等 81名 きらめきメッセージ全国コンクール発表者等(審査員含) 28名 SYDボランティア奨励賞受賞者等 53名 日体大チィアリーディング部 17名 鶴見大学附属中学校・高等学校JRC国際ボランティア部 9名 フィリピン子ども親善大使 13名 修養団ブラジル訪日団 6名 その他一般 25名

※実行委員会の開催

開催日 10月17日(土) \sim 18日(日)<112日>

会場 SYD会議室及び国立オリンピック記念青少年総合センター

特別講師 1名(藤本晴香)

指導者等 5名 (青木富造、山口千恵子、市島寿里、志村和也、谷野渉) 参加者 22名 (組織の代表者および有志〈高校生以上の青年〉)

(3) SYD自然体験チャレンジ~世界遺産富士山に臨む~《子どもゆめ基金助成活動》

開催日 7月18日(土)~20日(月·祝) < 2 ~ 泊 ~ 3~ 日 >

会 場 YMCA東山荘及び富士山

登山ガイド 1名 (藤井桂)

スタッフ 3名 (青木富造、志村和也、谷野渉)

参加者 12名(高校生以上の青年)

*SYD自然体験チャレンジ事前調査

期 日 7月5日(土)~6日(日) < 1泊2日>

派 遣 者 志村和也

(4)報告書の作成(全国青年ボランティア・アクション in 福島&全国青年ボランティア・フェスティバル&東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア&SYDボランティア奨励賞受賞者名簿&SYDきらめき全国メッセージコンクール受賞者名簿)

部数800部

体 裁 A4版 86頁

4. 青年組織育成活動

(1) 創立110周年記念事業「SYDオールディーズ(OB会)」 **〈別表-5〉**

開催数 5会場 <各1日~1泊2日>

スタッフ 10名 (実行委員5名、担当者5名)

参 加 者 99名

期 間 4月~平成28年1月 <各金曜日18時30分~21時>

開催数 8回

会 場 SYD会議室

講 師 11名 出席者 138名

(3) 指導者の派遣と青年組織活動への助成

第17回東関東冬季子ども自然体験キャンプ指導者研修

No.	主催団体	実 施 日	会 場 名	講 (研修出	師 出張)	参加者
1	SYDいばらき	2月12日(金) ~13日(土)	ばんだいふれあいぴあ	谷野	渉	8名

5. 関係機関・団体との協力

(1)会議出席

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び 社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に会議に出席した。

〈別表-7〉

(2)修学旅行生(グループ別学習)の受入

期日	学校名	来団者数
4月15日(水)	石川県・宝立中学校	3名
5月27日(木)	三重県・いなべ市立藤原中学校	4名

6. 第10回SYDボランティア奨励賞

(1)募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、≪出前講座≫開催校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、全国34都道府県から75件の応募があった。

(2)選考委員会の開催

日 時 平成28年1月6日(水)11時~13時

会 場 SYD会議室

出席者 選考委員7名【*印=欠席者】

*明石要一(千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長)

鈴木優子(学校法人立教女子学院理事・法人事務局長)

*仲野好重(一般財団法人人間塾代表理事)

長沼 豊 (学習院大学教授)

堀井榮夫(全日本中学校長会事務局長)

山田一功(社団福祉法人ひかりの里理事長、公益社団法人日本PTA全 国協議会元副会長)

御手洗康(修養団理事長)

山﨑一紀 (修養団専務理事)

青木富造(修養団青年部長)

職員3名(岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子)

《選考結果》*選考委員会の席上、選考委員からの強い希望により「理事長特別賞」を設けた。 文部科学大臣賞 1点

熊本市立天明中学校 生徒会

(熊本県)

理事長特別賞 1点

千葉黎明高等学校

(千葉県)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】 沼津市立片浜中学校 生徒会

(静岡県)

【高校生の部】 山口県立柳井商工高等学校

まちづくりプロジェクトチーム

(山口県)

【大学生・一般の部】 西九州大学 ESRDサークル

(佐賀県)

特別賞 5点

渋川市立渋川南小学校

(群馬県)

北海道函館水産高等学校 北のくにづくり2015

(北海道)

高知県立中村高等学校西土佐分校

地域ボランティア隊Rapport

(高知県)

国際基督教大学 劇団虹

(東京都)

摂南大学 ボランティア・スタッフズ

(大阪府)

(3) 贈呈式 * 「全国青少年ボランティア・フェスティバル」の中で贈呈式を開催

日 時 平成28年2月6日(土)14時~15時30分

会場 SYDホール

出席者 234名(受賞関係者53名、来賓2名、全国青少年ボランティア・フェスティバル参加者81名、きらめきメッセージ全国コンクール発表者等53名、パフォーマンス出演者2団体26名、フィリピ

ン・ブラジル訪日団19名)

内 容 文部科学省スポーツ・青少局青少年課長の泉潤一様より来賓祝辞と文部科学 大臣賞の副賞贈呈、選考委員・(公財)日本PTA連合会元副会長の山田一 功様より選考経過を報告、御手洗理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後 各賞受賞者から挨拶と活動発表があった。

> *文部科学大臣賞の楯は、翌7日開催の修養団創立110周年記念大会に て文部科学副大臣より贈呈された。

Ⅱ. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動(サポーティングプログラム)

(1)創立110周年記念「フィリピン子ども親善大使招聘事業」

期 日 2月4日(木)~11日(木·祝)<7泊8日>

会 場 SYD及びオリンピックセンター、カリタス中学校、富士山 他

スタッフ 2名(山口千恵子、志村和也)

招聘者 11名(子ども8名+引率者3名)

(2) **創立110周年記念「青年ボランティア・アクション in フィリピン」**《文部科学省後援》

期 日 8月18日(火)~24日(月) < 6泊7日>

訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)

スタッフ 2名 (青木富造、山口千恵子)

参加者 30名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)

※「青年ボランティア・アクション in フィリピン」支援バッグ作成作業

期 日 8月12日(水)、13日(木)、14日(金) <3日間>

参加者 12日:17名、13日:9名、14日:5名 計31名

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) 指導者の招聘

ア. 青年リーダー招聘

期 日 7月14日(火)~8月10日(月) <28日間>

招聘者 蒔田 雄三 ウイリアン (30歳・社会人)

上野 雅夫 クラウジオ (24歳・大学生)

主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ、都内視察ほか

イ. 創立110周年記念「ブラジル修養団指導者日本研修」

期 日 平成28年2月3日(水)~23日(火)<21日間>

招聘者 草野 まさお マリオ (50歳・社会人)

蓮沼 秀雄 アレシャンドレ (35歳・社会人)

主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ、都内視察ほか

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 平成28年1月4日(月) \sim 2月9日(火)<37日間>

派 遣 先 ブラジル (サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)

派 遣 者 板倉和也 (講師研修生・伊勢青少年研修センター)

主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1/ 8~10	モジ・ダス・クルーゼス講習会	157名	50名	207名
$1/15 \sim 17$	スザノ講習会	145名	5 5 名	200名
1/19~21	アサイ講習会	103名	3 3 名	136名
1/2 2~2 4	マウア・ダ・セーハ講習会	4 2名	3 2 名	74名
1/26~28	ロンドリーナ リーダー養成研修会	36名	25名	61名
1/29~31	マリンガ修養林間学校	110名	48名	158名
1/2 4	マウア・ダ・セーハ講演会	18名	_	18名
1/3 0	マリンガ講演会	8 0 名	_	80名
	合 計 8回	691名	243名	934名

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場:伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会(定例講習会)

〈別表一8〉

開催数 10回 <各3泊4日>

参加者 424名(定員各60名)

対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

(2) みがく特別講習会

〈別表-8〉

開催数 4回 <各1泊2日> 参加者 460名(定員各100名)

(3)特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A:初穂曳コース:10月15日(木)~17日(土) <2泊3日>

B:神嘗祭コース:10月16日(金)~17日(土) <1泊2日>

参 加 者 A:38名

B:31名 計69名(定員各50名)

イ. 初詣新春の集い

期 日 平成28年1月9日(土)~10日(日) <1泊2日>

参加者 62名(定員80名)

(4) 受託講習会 〈別表-9〉

開催数 25回

参加者 1,100名

開催数 25回

参加者 1,756名

開催数 48回

参加者 3,375名

2. 関東・東北地区講習会

(1)新入社員セミナー

期 日 4月15日(水)~17日(金) < 2泊3日>

会 場 レイクサイド磐光(福島県)

講 師 等 7名(白石高司、木下茂美、山﨑一紀、根岸秋吉、山﨑政弘、志村和也、谷 野渉)

参 加 者 96名 (男:46名、女:50名)

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成28年2月10日(水)~12日(金) <2泊3日>

会 場 レイクサイド磐光(福島県)

講 師 等 4名(鈴木義信、山﨑一紀、根岸秋吉、山﨑政弘)

参 加 者 22名(男:22名、女:0名)

(3) 受託セミナー

〈別表-12〉

ア. 新入社員セミナー

①1日コース開催数 2回

参加者 89名 ②1泊2日コース 開催数 4回 参加者 316名

③2泊3日コース 開催数 4回 参加者 136名

イ. ブラインドウォークセミナー

①半日コース

開催数 5回

参加者 226名

ウ. パート社員セミナー

①1日コース

開催数 12回

参 加 者 882名

エ. 一般社員セミナー

①1日コース

開催数 3回

参加者 72名

②1泊2日コース

開催数 13回

参 加 者 676名

(4)企業組織巡回

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

・福島県下企業・組織 11月17日~20日(30社)

*連合会・クラブ、企業・青少年団体等主催講習会・講演会(集計)〈別表-13〉

(1)講習会

開催数 79回

参加者 4,278名

(2)講演会

開催数 40回

参加者 2,956名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭力アップ・セミナー

家庭が本来持っている機能・役割を「家庭力」とし、それをさらにアップ(発揮)させ、幸せな家庭やイキイキとした地域社会をつくることを目指した。

セミナーでは、講話とワークショップ (会話劇と話し合い)を通して、家族のコミュニケーションを基本とした生き方の見直し、生活習慣の改善をおこなうための具体的実践を提案した。

開催に当っては社会教育団体振興協議会、公益社団法人全国公民館連合会の後援を得て、 クラブ・連合会が実施団体となって、諸機関の協力を得た。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講師
11月8日(日)	三重県 伊勢市	伊勢青少年 研修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会 青年部灯会 修養団伊勢いなほの会	2 3名	久世郁夫 保坂正志
1月31日(日)	香川県 高松市	香川県教育会館	修養団香川県連合会	70名	岡村精二 久世郁夫
合計		2会場		9 3名	4名

2. 家庭教育講演会等

- 6月18日 修養団美幌会「講談三昧と講演を楽しむ夕べ」(美幌町・しゃきっとプラザ集団健診ホール)87名【宝井琴柑、久世】
- 6月19日 北見市教育委員会「寿大学(講談と講演)」《協力:SYD修養団端野会》 (北見市・端野町公民館)80名【宝井琴柑、久世】
- 1月30日 北海道北見市・協和110周年協賛事業「協和敬老会」(北見市・協和 文化センター)60名【宝井琴柑、山﨑一紀】
- 3月 2日 修養団東松山向上会「さわやか家庭《共育》講演会」《後援:修養団埼 玉県連合会》(東松山市・箭弓稲荷神社) 52名【宝井琴柑、山﨑一紀】
- 3月 5日 楊名時太極拳堀道場「幸せの種まき講演会」《後援:修養団鹿児島県連合会》(薩摩川内市・堀道場) 75名【根岸】

3. 親子で楽しむ農業・漁業体験![創立110周年記念モデル事業]

親と子がともに漁業体験をする中で、多くの人や自然に生かされていることを実感し、 子どもたちの自主性や協調性を育み、親子の絆を深める機会とした。

(1)「親子で楽しむ漁業体験 in 狐崎」

- 期 日 9月19日(土)~20日(日) < 1泊2日>
- 会 場 孤崎漁村センター(宮城県石巻市孤崎漁港)
- スタッフ 2名(保坂正志、山﨑政弘)
- 参 加 者 19名
- 内 容 カキ養殖の漁具整備、カキ剥き、刺し網漁業体験など

V. 会員·組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員および連合会等の会員組織と連携を図りながら、下記事業・活動を展開し、「幸せの種まき運動」を推進した。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」をはじめとする修養団の理念について理解を深め、実践への意欲を高めるとともに、会員組織の後継者育成および地域社会や職場・学校等におけるリーダー養成の機会として実施した。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
9月26日(土)	東京都 渋谷区	SYD会議室	修養団よよぎっこ倶楽部 修養団日立システムズ五十鈴会 修養団神奈川県連合会 修養団東京都連合会	13名	牧原満男 山﨑一紀 保坂正志
10月14日(水)	福島県 喜多方市	グループ ホーム さくら	修養団愛汗喜多方 修養団福島県連合会 協力:修養団山都愛汗の会 後援:医療法人佐原病院 福島民報社 ほっと・ねっと社	3 9名	久世郁夫 保坂正志
10月31日(土)	新潟県 新潟市	豊栄地区 公民館	修養団豊栄 修養団新潟県連合会	3 4 名	久世郁夫 山﨑政弘
3月6日(日)	鹿児島県 鹿児島市	八重山公園 てんがら館	修養団鹿児島県連合会	14名	根岸秋吉 保坂正志
合 計		4会場		100名	9名

(2) 第7回「チャリティー演芸会」今年も落語立川流ですから!-ストリートチルドレン支援-

日 時 7月3日(金) 18時30分~20時30分

会場 SYDホールホワイエ

出演者 立川志らく、立川志らら、立川らく次

参加者 91名

係 員 10名 (職員6名、ボランティア4名)

※収益金107.843円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 第12回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」 - ストリートチルドレン支援-

ジャズ・ヴォーカリストの平田康子さんをはじめとするプロミュージシャン5名が出演 し、全13曲を披露した。

日 時 11月13日(金) 18時30分~20時30分

会場 SYDホール

参加者 175名

出演者 平田康子、藤原清登、冨川雅嗣、今村真一朗

※収益金321,583円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第4回「全国修養団運動推進会議」の開催

日 時 6月6日(土) 13時~17時30分

会場 SYDホール

出席者 66名

主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人 40名 オブザーバー 6名

役職員 20名

内容等 平成26年度事業報告と決算および27年度事業計画と予算の概要説明をおこなった。また、今年度事業の具体的展開、クラブ・連合会活動の活性化を図るため、事例報告と協議を実施。協議終了後に「宣言」を採択し、「宣言」と「協議の主な発言要旨」は、6月20日に会議出席者並びに全国のクラブ・連合会へ文書で送付した。

(2)講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。 回数:23回 *下記は、開催日、事業名、会場、参加者数、派遣者名の順

- 4月18日 修養団福島県連合会「こころをみがく講習会」(本宮市・観音寺) 13 名【根岸、保坂】
- 4月25日 修養団新潟県連合会「定期理事会並びに役員総会」(新潟市・新潟東映ホテル) 14名【久世】
- 5月23日 SYDボランティア友の会「第8回総会・記念講演〈所功氏〉」(SYD 会議室) 18名【御手洗、久世】
- 5月23日 修養団愛汗郡山「第10回定例総会・理事会」(郡山市・花の祥)8名 【根岸】
- 6月 6日 修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」(東京都・キングスランド) 37名【御手洗、山﨑一紀ほか】
- 6月13日 修養団鹿児島県連合会「平成27年度総会・講演(久世)」(鹿児島市・加 治屋町町民館) 15名【久世】
- 6月19日 修養団愛汗喜多方「平成27年度総会」(喜多方市・厚生会館)20名 【根岸】
- 6月21日 修養団山都愛汗の会「代議員総会」(喜多方市・山都開発センター) 20名【久世】
- 6月26日 修養団神奈川県連合会「第34回定期総会」(横浜市・はせがわビル) 15名【山﨑一紀、根岸、小川】
- 6月28日 修養団日立電子サービスOB五十鈴会「第5回総会」(東京都品川区・ 日立システムズテクノサービス品川オフィス) 7名【根岸、小川】
- 7月16日 修養団福島県連合会「平成27年度理事会及び通常総会」(郡山市・ベルヴィ郡山館)24名【久世、根岸】
- 7月31日 修養団日立システムズ五十鈴会「第27回定期総会」(東京都・日立システムズ本社) 13名【久世、小川】
- 8月 7日 修養団岡山愛汗会写真展「沖縄-写真は何を語る-」取材(玉野市・玉 野市総合文化センター)【保坂】
- 9月 4日 修養団多賀向上会「創立50周年記念行事・講演会(武田)及び祝賀会」 (茨城県日立市・要害クラブ)83名【久世・武田】
- 11月16日 喜多方市「『蓮沼門三先生胸像』除幕式並びに記念講演会(山崎一紀)」 (喜多方市役所) 100名【山﨑一紀、久世】
- 12月12~13日

修養団宇部市連合会「ヤングリーダーin うべ」(山陽小野田市・きらら交

- 流館) 14名【根岸】
- 12月13日 修養団宇部市連合会「宇部市街頭美化清掃」(宇部市内) 400名【根岸】
- 12月23日 皇居参賀の集い実行委員会〈千葉県・神奈川県・東京都各修養団連合会〉 「天皇誕生日・奉祝〜皇居参賀の集い」(東京都・皇居)47名 【保坂、小川】

(3) 喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師事業」への支援

要請により、講師を派遣した。

- 9月15日 「愛と汗の人・蓮沼門三の生涯」講演会(高郷公民館)33名【久世】
- 1月17日 豊川町新春交歓会第一部教養講座(豊川公民館)80名【久世】
- 1月17日 熊倉町新春のつどい(熊倉公民館) 100名【宝井琴柑、久世】 「協力:修養団愛汗喜多方・修養団福島県連合会〕

※宝井琴柑講談「愛と汗の人・蓮沼門三物語」

- 2月12日 総合的学習の時間「蓮沼門三先生について」(喜多方第一小学校)(対象: 6年生)97名【久世】
- 2月17日 道徳教育講演会(山都小学校)〈対象:5~6年生〉38名【山崎一紀】 「協力:修養団山都愛汗の会」
- 2月17日 教育講演会(山都中学校)〈対象:1~2年生〉47名【山﨑一紀】 〔協力:修養団山都愛汗の会〕

(4)諸団体との連携

4月23日 社会教育団体振興協議会「第1回幹事会」(SYD会議室)9名

【山﨑一紀】

- 5月21日 千修会「理事会」(SYD会議室)9名【久世】
- 6月17日 社会教育団体振興協議会「平成27年度総会」(東京都・東海大学校友館) 35名【山﨑一紀、久世】
- 6月17日 「第43回社会教育関者懇親の集い」(東京都・東海大学校友会館) 140名【山﨑一紀、久世、真下〈集い係員〉】
- 6月23日 千修会「平成27年度総会・うたごえ広場」(SYD会議室)22名 【久世】
- 10月 5日 千修会「写真展-まちねっと千修会15年の歩み-」(東京都渋谷区・鳩の森小学校)※第19回「千駄ヶ谷まつり」の中で実施
- 10月 8日 千修会「秋休みバスツアー・おいしい食品工場見学と面白科学体験」 (横浜市ほか)37名【山﨑(政)】
- 12月16日 社会教育団体振興協議会「第2回幹事会」12名【御手洗、久世】(パナ ソニックセンター東京会議室)
- 12月17日 千修会「第2回理事会」(SYD会議室)9名【根岸】
 - 1月15日 「国立オリンピック記念青少年総合センター開所50周年及び国立青少年教育振興機構発足10周年記念式典」280名【御手洗】(同センター国際会議室)
 - 2月13日 千修会「実行委員会」(SYD小会議室)6名
 - 2月29日 社会教育団体振興協議会「第31回文部科学省と語る会」(東京都・東海 大学校友会館)60名【久世(司会)、青木】
 - 3月30日 (独)国立青少年教育振興機構「2016 ミクロネシア諸島自然体験交流事業 "総合評価委員会"」(東京都・オリンピック記念青少年総合センター) 【久世】

3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

会員種別	当年度(28.3.31現在)	前年度(27.3.31現在)	増減
ふれあい会員	3 7 2	472	\triangle 1 0 0
愛 会 員	6 3 3	7 1 9	△86
向上会員	1,659	1,680	$\triangle 2 1$
永生会員	10,728	10,728	0
合 計	13,392	13,599	$\triangle 207$

(2)後援会会員の現状

会員種別 当年度(28.3.31現在)		前年度(27.3.31現在)	増減
法人会員	9 8	100	$\triangle 2$
個人会員	1 5 7	165	△8
合 計	2 5 5	265	△10

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動を行った。引き続いて東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、多数の死傷者や避難生活者を出した4月のネパール大地震に対しての支援を呼びかけた。

単位:円

			27年 4 月	5月	6月	7月	8月	9月
		月計金額	83,534	432,447	552,649	599,078	258,237	190,009
	(《一般献金》	45,534	124,397	328,747	289,037	53,237	75,685
《指定献金》		《指定献金》	38,000	308,050	223,902	310,041	205,000	114,324
	東ト	日本大震災被災者支援	11,000	0	0	0	30,000	56,675
指定献	ネノ	ペール大地震支援	0	58,500	54,800	0	25,000	0
献	フ	子ども学資支援	0	195,000	75,000	30,000	45,000	33,000
金内	イル	大学生学資支援	0	34,550	79,102	270,041	15,000	2,130
訳	ピ	学校支援	27,000	20,000	15,000	10,000	40,000	22,519
		子ども医療支援	0	0	0	0	50,000	0

			10月	11月	12月	28年 1 月	2月	3 月
月計金額			201,200	449,481	853,445	280,838	419,286	247,193
《一般献金》			110,225	344,788	698,303	147,463	326,353	136,843
	(《指定献金》	90,975	104,693	155,142	133,375	92,933	110,350
	東	日本大震災被災者支援	72,875	36,325	0	57,075	20,000	0
指字	ネパール大地震支援		0	0	0	0	0	0
指定献	フ	子ども学資支援	0	36,000	108,000	60,000	30,000	75,000
金内訳	イリ	大学生学資支援	18,100	2,368	27,142	16,300	2,933	1,350
	ピピ	学校支援	0	30,000	20,000	0	40,000	34,000
		子ども医療支援	0	0	0	0	0	0

			今年度合計			前年度合計			
	年	間合計金額	4,56	67,397	(245	件)	4,84	9,901	(242件)
	(《一般献金》	2,68	30,612	(134	件)			
	(《指定献金》	1,88	86,785	(111	件)			
	東	日本大震災被災者支援	28	33,950	(9	件)			
指	ネノ	ペール大地震支援	13	38,300	(11	件)			
指定献金内訳	フィリピ	子ども学資支援	68	37,000	(43	件)			
金内		大学生学資支援	46	9,016	(22	件)			
訳		学校支援	25	8,519	(25	件)			
	ン	子ども医療支援	5	50,000	(1	件)			

〈チャリティーツアーの実施〉

献金委員会の呼びかけで、関東地区において募金活動の一環として、修養団のバスを利用しチャリティーツアーを2回実施(さくらんぼ狩り、しいたけ狩り)し、合計78,097円を献金した。

第1回 6月13日(土) 参加者24名、心の参加者7名

第2回 12月 5日(土) 参加者15名、心の参加者6名

*心の参加者=参加できないが、趣旨に賛同して献金してくださる人

〈図書「パヤタスに降る星」の販売〉

フィリピンの子どもたちとの交流から生まれた12のショートストーリーを内容とする山口千恵子職員が執筆の同書(発行:中央法規)を販売し、収益の一部を献金収入とした。

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供46名、大学生4名の学資支援、380名の子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、ブラジルの施設も支援した。また、4月のネパール大地震被災者、9月の台風による大雨被害の被災者(茨城県)への支援を行った。

(※=全て指定献金/**=一部指定献金)

〈東日本大震災被災者支援〉

•「SYD東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」 558,577 円※ 活動経費(特別開催を含め7回分、食材費)

〈その他の災害被災者支援〉

・ネパール: 大地震被災者支援(ボランティア団体"えん21"を通して)
 ・茨城県: 平成27年台風第18号等大雨災害義援金
 50,000円
 (茨城県内で支援活動を活動する"一般社団法人 TSUNAGARI"を通して)

〈ストリートチルドレン支援〉

・フィリピン: ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等)
 ・フィリピン: 子ども(幼稚園~高校生)学資支援(スカベンジャー・46名)
 ・フィリピン: 大学生学資支援(スカベンジャー・4名)
 ・フィリピン: 「パンガラップ・ラーニング・スクール」
 650,000 円 **
 600,000 円 **
 1,200,000 円 **

(学校運営支援・10万円×12ヵ月)

・フィ	リヒ	ピン:	ストリートチルドレン(医療費)	50,000 円※		
・フィ	リヒ	ピン:	「マザー・テレサの家」(支援品)	34,756 円		
・ブラ	ラジ	ル:	「コロニア・ベネーザ」(教育支援金)	70,000 円		
〈福祉	〈福祉施設・団体支援〉					
・福	島	県:	介護老人福祉施設「北原荘」	30,000 円		
・福	島	県:	介護老人保健施設「天心ケアハイツ」	30,000 円		
• 福	島	県:	山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」	30,000 円		
• ≡	重	県:	伊勢身体障害者「協和会」	80,000 円		
• =	重	県:	NPO法人「たまき末芳園」	80,000 円		
· =	重	県:	社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」	30.000 円		

合 計 4,483,333 円

前年度合計 3,609,171 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1)幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成27年 4月10日、5月8日、6月11日、7月8日、8月5日、9月8日、 10月7日、11月4日、12月9日

平成28年 1月13日、2月15日、3月9日

(2)報告書の作成・配布

平成 2 6 年度活動報告書 (1,500 a) を発行し、連合会・クラブ、募金してくださった方々などに送付した。

公益3

VII. 出版·広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1)「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	3,100	始める
5月号	3,000	叶える
6月号	3,200	思いやる
7月号	3,100	進める
8月号	2,900	つながる
9月号	3,000	変わる
10月号	3,300	支える
11月号	3,000	認める
12月号	3,100	感謝する
1月号	3,400	決める
2月号	3,500	温める
3月号	3,200	届ける
合 計	37,800 部	(前年度38,900部)

(2)「愛」

号	発行部数	備考
4月号	1,400	
5月号	1,400	
6月号	1,500	
7月号	1,900	「ふれあい特集号」454部含む
8月号	1,200	
9月号	1,300	
10月号	1,400	
11月号	1,700	「ふれあい特集号」480部含む
12月号	1,400	
1月号	1,500	
2月号	1,800	
3月号	2,000	「ふれあい特集号」402部含む
合 計	18,500部	(前年度20,000部)

2. 平成28年版「日々の力」の制作・販売

(1)制作

題 名 「こころ 花咲く」

作 者 〈絵と文字〉福田玉庭(書道師範)

内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、実 行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵手紙風の絵を添えて制作した。

体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り

印刷部数 17,000部(宣伝用含む)

第1回納品-7月2日、第2回納品-8月31日

(2)販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区分	件 数	部数
SYDオリジナル	8 7	2,457
予 定 表 付	3 1	2 1 0
無地	3 2	4 1 6
注文名入れ印刷	5 6	11,770
合 計	206件	14,853部
前年度合計	224件	15,146部

※ 9月9日~11日 修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下12社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4.「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,100~1,200部(4頁または6頁)を発行し(N0.84~94)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「web かわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4 • 収益1

WII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-15〉

(1) 利用状況

ア. SYD主催講習会

開催数 19回(前年度16回)

参加者 1,648名(前年度1,055名)

イ. 受託講習会(修養団方式)

開催数 25回(前年度21回)

参加者 1,100名(前年度1,229名)

ウ. 一般研修会

開催数 25回(前年度28回)

参 加 者 1,756名(前年度1,655名)

2. ばんだいふれあいぴあ

(1)利用状況

〈別表-16〉

/ <u> </u>			
月	利用団体数	利用者数	延べ利用者数
4月	0	0	0
5月	2	3 8	114
6月	1	1 1	2 2
7月	1	5 2	154
8月	4	2 3 8	6 5 5
9月	4	112	204
10月	2	3 2	9 6
11月	1	2 5	7 5
12月	1	109	4 4 5
1月	1	2 6	7 8
2月	2	1 3	3 9
3月	2	7 5	3 0 5
合 計	21回	731名	2,187名
前年度合計	19回	639名	2,207名

(2) 施設の整備等

ア. 整備

期 日 7月22日 (水) ~24日 (金) <2泊3日> スタッフ 2名 (青木富造、谷野渉)

イ. センター棟屋根・外壁

屋根及び外壁ともに、塗装がはがれ水漏れ、汚れが見られたため、塗装工事を行った。(工事:5月12日~31日)

ウ. その他

喜多方市と北塩原村の関係先等13ヶ所を青木と佐藤で新年挨拶まわりをした。 (1月12日)

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回 数 191回(前年度159回) 利用者数 23,160名(前年度19,460名)

イ. SYD会議室(16階)

回 数 50回(前年度49回) 利用者数 800名(前年度750名)

(2) SYDビル及びホールの整備等

テナント、ホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等を行った。

ア. SYDビル 中央監視装置及び周辺機器の更新工事(平成28年3月)

イ. SYDホール 水害によるAV設備機器の一部入替(平成28年2月)

4. 関西会館

テナント(1階、2階部分)の適正管理を行った。また、自己所有スペースを関西方面のリーダー等の打ち合わせ、活動拠点として利用した。

その他

IX. 修養団創立110周年記念大会の実施

1. 修養団創立110周年記念大会

皇太子同妃両殿下の行啓を仰ぎ、また、義家弘介文部科学副大臣ご臨席のもと、2月7日に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催した。全国会員はじめ関係者が集い、「愛と汗」の原点に立ち返り、心ひとつに今後も「幸せの種まき運動」を強力に推進していく決意の機会となった。

なお、記念大会については、産経新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞等各紙で報道されたほか、テレビでもFNNニュース、皇室アルバム、皇室日記などで放映された。

(1) 記念大会 12時30分~15時 (カルチャー棟大ホール)

①参加者 750名

ブラジル修養団訪日団として来日した桜井仁会長、蓮沼芙美雄総務、蓮沼勝子、土 井尚の四氏および研修来日中の草野正男マリオ、蓮沼秀雄アレシャンドレの両氏も参 加した。

②内 容 司会:金子拓郎、藤本晴香(青年部員)

プレステージ 映像「おめでとう! 110周年」

"子ども自然体験キャンプ各開催地&ブラジルから"

第1部「祭典」 開会のことば

「誓願」斉唱

黙祷

国歌斉唱

「心の舞」/ 剣詩舞道 水心黎明流(修養団香川県連合会)

・祝賀の詞 ・あさみどり

「星に願いを…」/映像と歌とダンス

"フィリピンの子どもたちによるライフストーリー"

第2部「式典」 主催者あいさつ / 修養団理事長 御手洗 康

修養団創立110周年功労者特別表彰

(代表受賞者:蓮沼賞 下村 祐毅 様)

第10回「SYDボランティア奨励賞」表彰

(文部科学大臣賞:熊本市立天明中学校生徒会 様)

第1回「SYDきらめきメッセージ全国コンクール」表彰

(文部科学大臣賞:山口杏様〈神奈川県、大学3年生〉)

皇太子殿下 お言葉

祝辞 / 文部科学副大臣

義家 弘介 様

㈱ヨークベニマル代表取締役会長 大髙 善興 様

未来へのメッセージ ~心ひとつに~

全員合唱「世界がひとつになるまで」

閉会のことば

- **(2) 祝賀・交流のつどい** 15時20分~17時(国際交流棟レセプションホール)
 - ①参加者 500名
 - ②内 容 司会:立川らく次(落語家)

主催者あいさつ / 修養団理事長 御手洗 康

乾杯 / 修養団宇部市連合会会長 岡村 精二 様

歓談

修養団今昔物語(写真とインタビュー)

〈敬称略:三瓶 利正、石田 博嗣、古賀 克彦、伊藤 未知〉

ブラジル修養団訪日団の紹介・桜井仁会長挨拶

ダンス・パフォーマンス (フィリピンの子どもたち)

御礼あいさつ / 修養団専務理事 山﨑 一紀

(3) ロゴマーク

実行委員会のロゴマーク案をもとにイラストレーターの松本剛氏に描いていただいた。 『向上』や『愛』、報告書等の印刷物に掲載したほか、シール2種類(大-5,000 枚、小-20,000 枚)を作成し、発送封筒や名刺等に貼付して使用した。また、記念大会の参加缶バッチの絵柄とした。



SYD(公益財団法人修養団)は、創立以来、多彩な 社会教育活動を展開し、平成28年2月11日に創立 110周年を迎えます。

私たちは、『愛と汗』の原点に立ち返り、これからも "心ひとつに"笑顔あふれる社会の実現に向けた、幸せ の種まきを実践してまいります。

(4) 記念大会実行委員会

平成26年11月にスタートした役職員による実行委員会に置いた行事部会(部会長: 岩佐)、参加・表彰部会(部会長: 保坂)、総務部会(部会長: 真下)が基本計画をもとに詳細の検討・準備を適宜おこない、伊勢部会と連絡を取りながら事務局(久世)と前記三部会長による部会長会議(月1~2回開催)で重要事項の検討や調整をおこなった。

なお、5月7日に会場のオリンピックセンター大ホールとレセプションホールを下見。 また、12月26日に実行委員会全体会をおこない、各部会長及び事務局からそれまでの 経過や現状についてそれぞれ説明し、その後の詳細準備について確認した。

さらに、28年1月8日に2回目の会場下見とともに宮内庁、文部科学省、警備、会場 関係者との会場事前打ち合わせをおこなった。3月末を以って解散。

2. 図書『蓮沼門三の言葉110』の発行

初代主幹の言葉から110の言葉を厳選する内容で編集し(担当:山﨑、久世、大塚)、12月14日に納品。記念大会の記念品の一つとしたほか、販売を開始した。

- · 部数 1,500部
- · 体裁 B 6 変形 1 4 8 頁

3.「蓮沼門三先生胸像」の制作・寄贈

「喜多方市人づくり指針」において郷土の先人の一人としてその業績と教えを喜多方市が広く伝えている蓮沼門三初代主幹の胸像を制作し(高さ 172cm 〈胸像部 56cm、チーク材像台 116cm〉、幅 46cm、奥行き 43cm、制作費 2,592,000 円)、下記除幕式において修養団、修養団福島県連合会、修養団愛汗喜多方、修養団山都愛汗の会、以上 4 団体から喜多方市に寄贈した(喜多方市役所新庁舎ホール棟 1 階市民ロビーの〈未来を拓く喜多方人啓発コーナー〉に設置)。

「蓮沼門三先生胸像」除幕式並びに記念講演会

主 催 喜多方市

期 日 11月16日(月)

会場 喜多方市役所ホール棟1階市民ロビー

参加者 100名(上野光晴副市長はじめ市職員および修養団会員など)

【山﨑一紀、久世】

内 容 蓮沼門三先生胸像除幕式

記念講演会「愛と汗・蓮沼門三の人と思想」(講師:山崎一紀専務理事)

- ※終了後、修養団愛汗喜多方主催による祝賀会が開催された(会場: 喜多の郷、参加者: 50名)
- ※この日に合わせて、喜多方市ふるさと振興㈱が純米酒「愛汗」(720m1 と 300m1)の販売を開始した(しおり「"愛汗"と蓮沼門三・修養団」が添付されている)。

X. 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体への委員等の就任

社会教育団体振興協議会 副会長 御手洗康

幹事久世郁夫

(独) 国立青少年教育振興機構

まクロネシア事業総合評価委員会 委員 久世郁夫 文部科学省:独立行政法人評価委員会 臨時委員 青木富造

文部科学省:外部有識者による知見の

活用を行うための法人ヒアリング 委 員 青木富造 NPO法人自然体験活動推進協議会 評議員 青木富造

XI.表 彰

1. 創立110周年功労者特別表彰(兼平成27年度功労者表彰)

名誉団員 1名 安田 敬一(千葉県)

特別賞【蓮沼賞】10名

竹原 恒明(北海道)、中西 務(北海道)、三瓶 利正(福島県)、 近藤 節子(埼玉県)、松本ナヲエ(千葉県)、金澤 裕(香川県)、 下村 祐毅(鹿児島県)、袴田 哲朗(鹿児島県)、山元れい子(鹿児島県)、 上村留美子(鹿児島県)

表 彰 個人: 73名 団体: 24団体 感謝状 個人: 36名 団体: 74団体

Ⅶ. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1)第1回理事会

期 日 5月20日(水)

会 場 SYD会議室

出席理事 10名 欠席理事 3名

出席監事 2名 欠席監事 1名

議 題 ア. 平成26年度事業報告について

イ. 平成26年度収支決算について

ウ. 平成27年度上期慰労手当の支給について

エ. 評議員選定委員の選定について

オ. 評議員候補者の推薦について

カ. 事務局体制の変更について *社会活動部と教育事業部を一体化して、社会教育部とする

(2)第2回理事会

期 日 12月14日(月)

会 場 SYD会議室

出席理事 12名 欠席理事 1名

出席監事 3名 欠席監事 0名

議 題 ア. 平成28年度基本方針(案)・事業計画大綱(案)について

- イ. 平成28年度予算大綱(案)について
- ウ. 修養団創立110周年功労者特別表彰 兼平成27年度功労者表彰について
- エ. 常勤有給役員(理事・監事)の定年に関する内規の一部改正について
- オ. 山﨑専務理事の定年退職に伴う任期延長について
- カ. その他 ①次回の理事会について

(3)第3回理事会

期 日 平成28年3月18日(金)

会 場 SYD会議室

出席理事 10名 欠席理事 3名

出席監事 3名 欠席監事 0名

議 題 ア. 平成28年度事業計画(案)について

イ. 平成28年度収支予算(案)について

ウ. 評議員会の招集について

エ. その他 ①次回の理事会について

2. 第5回評議員会

期 日 6月5日(金)

会 場 SYD会議室

出席評議員 11名 欠席評議員 3名

議 題 ア、平成26年度事業報告並びに収支決算について

イ. 平成27年度事業計画並びに収支予算について

ウ. 平成28年度事業計画への要望について

エ. 理事の選任について

オ. その他 ①組織変更について

②評議員の選定について

③全国修養団運動推進会議について

3. 評議員選定委員会

期 日 6月12日(金)

会 場 SYD会議室

出席者 5名 欠席者 0名

議 題 ア. 評議員の選定について

4. 後援会役員会

期 日 6月16日(火)

会 場 SYD会議室

出席者 5名

本部役職員 5名

5. 顧問会

期 日 6月30日(火)

会 場 SYD会議室

出席者 6名

本部役員 4名

6. 弔事

(1)物故者芳名(敬称略)

東京都 宝井 馬琴 9月25日 (講談師、修養団参与)

東京都 蓮沼力太郎 11月 1日(修養団主幹)

東京都 吉田 正志 12月10日(日本レクリエーション協会元専務理事、修

養団元監事)

埼玉県小川 彰 1月 5日(著述家、修養団元理事)

埼玉県横山貞子 3月26日(修養団埼玉県連合会元婦人部長)

(2) 故蓮沼力太郎主幹お別れの会

会員や関係者・遺族・役職員などが集い、11月1日に逝去された蓮沼力太郎主幹の お別れの会を開催した。

主 催 公益財団法人修養団

日 時 12月19日(土)12時~14時

会場 SYDホール

参会者 128名

式次第 ①参会者献花、②開会の辞、③主催者挨拶、④黙祷、⑤「誓願」斉唱、⑥遺族挨拶、⑦思い出の映像、⑧主幹との思い出(3名)、⑨弔電披露、⑩献杯、⑪懇談、⑫閉会の辞

(3) 故中山靖雄相談役お別れの会

昨年3月8日に逝去された中山靖雄相談役のお別れの会が6月28日に会員有志主催で修養団伊勢青少年研修センターを会場に開催され、270名が出席した。

7. その他

(1) 税務調査

8月4日~6日 渋谷税務署による税務調査が行われた。

(2) 内閣府公益認定等委員会の立入調査

9月10日 問題なく終了した。

平成27年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」 第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存 在しないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人 修 養 団

後援会活動報告

平成27年度後援会活動は、6月16日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、 募金目標額は12,000,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越紀州製紙、東芝等々法人会員98社、個人会員157名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,860,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額 10,547,691 円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

(敬称略)

- (1)新入会員〈個人会員 2名〉 (東京都)栗山 義広 (東京都)塚田 光代
- (2) 逝去会員〈個人会員3名〉 (宮城県)高橋 顕輔 (東京都)小坂 智信 (山口県)河野 敏丸
- (3) 退会会員〈個人会員2名〉 (福岡県)中村百合子 (佐賀県)中川 節子

2. 募金活動

(1) 募金目標·募金実績(単位·円)

 (募金目標)
 (募金実績)

 法人会費 11,000,000円
 法人会費 9,200,000円

 個人会費 2,000,000円
 個人会費 1,660,000円

 合 計 12,000,000円
 合 計 10,860,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月16日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成27年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力のお願いをした。

3. 広報活動

- (1)修養団機関誌『向上』6月号に平成26年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と 感謝の意を表すると共に平成27年度のお願いをした。
- (2) 『向上』(平成27年度5月号より1年間)及び平成28年度版「日々の力」を法人、 個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月16日(火) 11時~13時

会 場 SYD会議室

出 席 者 常任幹事 伊与部恒雄、金川貴宣、澤田佳久、山口洋二

監 事 芳賀 律(松野正人監事代理)

修 養 団 御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、岩佐加寿子

議事

- ア. 平成26年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について
- イ. 平成27年度後援会事業計画案及び収支予算案について
- ウ. 平成26年度修養団主要事業報告並びに 平成27年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 収支報告 (4月1日~平成28年3月31日まで)

貸 方 (支出)	科目	借 方(収入)	前年度(収入)
	会費収入 (法人)	9,200,000(98 社)	9,450,000(100社)
	〃 (個人)	1,660,000(157 名)	1,710,000(165名)
	その他の収入		
10,547,691	修養団後援金		
5,309	旅費		
8,640	印 刷 費		
89,040	通信運搬費		
158,550	消耗品費		
35,640	会 議 費		
15,130	雑費		
10,860,000	合 計	10,860,000	11,160,000